

## 祝 辞

名古屋大学全学同窓会会長 豊田 章一郎

卒業生、修了生の皆様お一人おひとりに、心よりお祝いを申し上げます。

皆様は、社会に出られる方、あるいは、さらに一段高い研究の道に進まれる方など、それぞれの道を歩まれます。

皆様には、名古屋大学での経験や成果を活かされ、高い志と理想を掲げて、これから進まれるそれぞれの道を切り拓き、皆様一人ひとりの人生をぜひ素晴らしいものにしていただきたいと思います。

ご承知のとおり、日本は産業・社会・企業だけでなく大学も激しい国際競争の真ただ中にあります。名古屋大学は、松尾総長のリーダーシップの下、世界に通じる人材の育成や世界トップレベルの研究を推進され、世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる大学として「指定国立大学法人」に指定されております。さらに、4月には、世界有数の経済圏である東海地域にふさわしい新たな大学モデルの構築を目指して、岐阜大学と法人を統合して「国立大学法人東海国立大学機構」を設立されます。

私は、名古屋大学が国際競争力を益々向上させ、日本を支え、世界に貢献する大学になることを強く望んでおります。

そのためには、大学と社会の連携、特に大学と卒業生との密接な連携協力が不可欠であり、名古屋大学全学同窓会が「大学と社会を結ぶ必須の組織」となると考えております。すなわち、名古屋大学には、卒業生を大事にするとともに、大学の状況や活動を発信していただきたいと思います。逆に卒業生は、母校とのつながりを大事にしながら活躍していただき、同窓会を通じて母校を支援するという確かな関係を是非しっかりと築いていただきたいと思います。

名古屋大学全学同窓会は、発足以来17年が経ち、これまで、関東支部、関西支部、遠州会および岐阜支部の4つの国内支部と、韓国、バンラデシュ、上海、タイ、北京、ベトナム、カンボジア、モンゴル、ウズベキスタン、台湾、ラオス、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、

マレーシアの15の海外支部を作ってまいりました。海外の卒業生の中から大臣も輩出しております。卒業生の皆様のご活躍ぶりを頼もしくも、嬉しく思っております。今後はアメリカやヨーロッパといった地域にもしっかりと目を向けて取り組んでいくことが大切であると思っております。

皆様にも相互啓発・交流の場として、これら内外支部の活動に積極的に参加していただき、母校との連携を強化するなどさらに活発なものにしていただきたいと思いますと思っております。

全学同窓会では、名古屋大学基金への支援をはじめ、年会費永年無料の同窓会カード「名古屋大学カード」の発行など、各種母校支援に取り組んでまいりました。皆様にも、まずは、名古屋大学カードに是非ご入会いただき、母校支援にご協力いただければと思います。

また、いわゆる七大学、名古屋大学、東京大学、京都大学のほか4つの大学の同窓会である学士会にもご入会いただき、七大学の交流、交友を深めていただきたいと思います。

最後に皆様には、健康と安全には十分留意され、名古屋大学の卒業生、修了生として、自信と誇りを持って社会で活躍していただくことを心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

誠におめでとうございます。